

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	令和5年度 創業・スタートアップ支援情報発信事業		
事業の実施者	団体等	株式会社ウィルパートナーズ	
	行政	横浜市経済局新産業創造課	
事業の目的	ウェブサイト「スタートアップポートヨコハマ」において、横浜での創業者や創業間もない企業、スタートアップに向けて、「横浜市の創業やスタートアップ支援に関する施策情報」・「官民合わせた様々な支援や関連イベント情報」・「本市施策等を活用し活躍している起業家の情報」などを幅広く発信する。そのことにより、横浜が創業やスタートアップを応援していることを広くPRし、多様なプレイヤーが参加する「スタートアップ・エコシステム形成に向けた風土づくり」を推進することを目的とする。		
事業の内容	1 ウェブサイト「スタートアップポートヨコハマ」の運営 2 メールマガジン・SNSでの情報発信		
役割及び責任 分担等	事業項目	受託者の役割	委託者の役割
	ウェブサイトのデザイン・レイアウトの改修及び変更	1 デザイン・レイアウト等の変更	1 デザイン・レイアウト等の変更に関する企画協力・連絡調整等
	ウェブサイトの管理・運営	1 ウェブサイト「スタートアップポートヨコハマ」の管理・運営 2 アクセシビリティ及び文法等のチェック	1 ウェブサイト管理・運営等に関する連絡調整 2 ウェブサイト管理運営等に関する情報提供
	ウェブサイト等からの情報発信	1 次の項目を中心とした創業・スタートアップに関する情報の発信（随時） (1) 起業家へのインタビュー記事の作成・掲載 (2) 収集した情報をウェブサイト等にて発信するための記事の作成・掲載 (3) メールマガジンの原稿作成・配信	1 収集した情報をウェブサイト等にて発信するための記事の作成・修正・確認 2 メールマガジンの原稿作成・配信に関する連絡調整 3 ウェブサイト等掲載、メールマガジン配信に関する情報提供 4 その他事業の実施において必要な事項への調整や協力

	事業目的に沿った情報の収集	1 次の項目を中心とした創業に関する情報の収集・取材（随時） (1)助成金等支援の情報 (2)イベント・セミナーの情報 (3)創業・スタートアップを取り巻く最新の状況	1 情報の収集・取材に関する企画協力・連絡調整
	ウェブサイトのPR	1 ウェブサイトのアクセス数、メルマガ登録者数、Facebook・Twitter いいね！数増加に向けた取り組み	1 ウェブサイトのアクセス数、メルマガ登録者数、Facebook・Twitter いいね！数増加に向けた取り組みに関する連絡調整や協力
実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		

記入日	令和6年5月31日
記入者	[団体等] 団体等名： 株式会社ウィルパートナーズ 連絡先：045-307-4847
	記入者 記入者：桑原、馬場 連絡先： 045-307-4845
	[行政] 部署名： 横浜市経済局イノベーション推進課
	記入者 雲丹亀、後藤 連絡先： 045-671-3487

2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合って役割分担を決めることができましたか。	A	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合ってよく理解することができましたか。	A	A
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	A
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合って共有できたか。	B	B
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合って確認することができたか。	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	B	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

ウェブサイトの運営や創業全般に関する情報発信、起業家インタビュー等、相互の強みを生かして、事業の計画を練ることができた。

【今後改善が必要と思われること】

「スタートアップ・エコシステム形成に向けた風土づくり」を更に推進するため、ウェブサイトの認知度を継続的に上げるための計画を検討していく

事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

これから創業する方や創業間もない企業、スタートアップ向けの情報を、より効果的に発信することができた。また、英語への機械翻訳機能の導入など、市・受託者双方が収集したニーズを共有・反映した改修を行った。

【今後改善が必要と思われること】

新設したコンテンツ「企業の活動状況」について、企業からの情報提供を継続的に促すことで情報の蓄積を進めるとともに、ユーザー目線で魅力的かつ使いやすい表示方法を検証することで、主要コンテンツとして充実させていくことが必要。

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

ウェブサイト「スタートアップポートヨコハマ」とSNSを連動し、横浜での創業者や創業間もない企業、スタートアップに向けて、「横浜市の創業やスタートアップ支援に関する施策情報」・「官民合わせた様々な支援や関連イベント情報」を発信することで、企業の成長を支援した。また、「本市施策等を活用し活躍している起業家の情報」などを発信することで、横浜が創業やスタートアップを応援していることを広くPRし、多様なプレイヤーが参加する「スタートアップ・エコシステム形成に向けた風土づくり」につなげることができた。

自由記入欄